

能力開発セミナー 利用者の声

受講いただいたコース
継手・仕口の製作実践技術

基本や原則の大切さ

研修を通して図面や寸法の読み方、工具を使用した寸法の取り方、線の書き方といった基礎を繰り返し行いましたが、一つ一つの動作にコツがあり、全ての土台である要素の詰まった重要箇所でした。そして何より、実際に自分で体験してみないと分からないカン・コツが膨大にあると感じました。また、数学的な計算も用いて寸法を出していくので計算間違い、読み間違いが発生すると全てやり直しになってしまうこともあるため、一つ一つの動作を確認するということが当然ですが注意すべき急所でありました。

女性でも安全に楽しく学べる

力を要する作業もあるため、先生や受講生に手をお借りすることもありましたが、工具を正しく使用することで女性である私でもほとんどの作業を一人で行うことが出来ました。

株式会社保志

第三事業部 組立リーダー

坂本 麻里 様

坂本さんの業務

仏壇部門の最終組立・検査を行っています。最終工程という事で、沢山の人が手を掛けてきた部品を一つひとつ丁寧に組み上げていき、仏壇という“モノ”をただ組立するのではなく、そこに手を合わせて祈る“コト”を伝えられる尊い業務です。



新たな視点で業務に活かす

私は組立業務を担っているため、加工、塗装が完了した部品を主に取り扱っています。その為、加工精度が組立に大きく影響してくることや大事なポイントは存じているつもりでしたが、実際に自分で加工を行う事で精度を出す難しさや注意点が新しい視点として発見できました。さらに、今回の研修ではノコギリや鉋など弊社では機械化されている工具を使用し、工具を作業の中で使用する意味や全身を使って加工していく大変さを身に染みて味わうことが出来ました。

セミナー受講者 上司の声



第三事業部 工場長 舟木 孝徳 様

弊社では木材を扱った商品を製造している上で、まずは、この研修を通して昔ながらの基本となるノコギリや鉋での作業を覚えてもらい、木材の特性を学んでもらう為に参加させています。坂本さんも研修後職場へ戻っても、基本の原理原則を学んでいる事で、今まで気付かなかった加工のポイントを含んだ組立業務の改善などで活躍しています。

株式会社保志

会津の地場産業として1900年に創業し、「木」を主な材料とした仏壇仏具位牌の開発から、製造、卸売、小売まで手掛けております。第一線で活躍するクリエイターの方と協力しながらこれからの「新しい祈りのカタチ」をご提案することで、販売先は全国に展開しており直営店も4店舗(東京・会津)ございます。現在では若手社員が多く正社員の平均年齢は34.9歳(R4.12月時点)。人々の心を癒す尊い仕事である事を胸に日々ものづくりに励んでいます。

